

質 疑 質 問 事 項

1. 高齢ドライバーの運転免許証返納に対する助成制度について

- ①高齢者ドライバーの運転免許証返納時に、公共交通機関利用料金補助などの手当てが図れないか。
- ②民間の事業者が実験している事業を事前に承知していたのか。
- ③最初の実証実験の結果は報告されているか。
- ④高齢者ドライバーの免許証返納時、民間ドライバーが行う乗合自動車のチケット交付が行えないか。

2. イノシシ対策について

どう猛になってきているイノシシの捕獲方法等について、熱海市の対策はどうなっているか。

3. 行政視察研修で視察した別府市の「おくやみコーナー」について

熱海市も家族が亡くなった際、市に届ける書類や手続きの煩雑さなどをスムーズに行える体制づくりができないか。

4. 伊豆山土石流災害被災者への対応について

伊豆山土石流災害から1年と5カ月が経過したが、被災された方々の生活や住居費などの国の補助が来年7月までと聞いている。だが未だに復興計画の全貌が見えず不安を感じている被災者は多いと思う。住居に戻れない住民や、商売などできない被災者への対応はいつ示すのか。市長の決断はいつなのか示されたい。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山地区の復興支援について

- ①市は、伊豆山地区に戻って住宅を再建される方々の宅地の整備は市が行うということだが、住宅を建てたいが再建費用が捻出できないなどの方々に、何らかの支援策があるのか。
- ②今後の生活再建の意向について、現地再建の希望が無い方や、今でもどうしたらよいかわからない方は、どのようにまとめて復興事業を進めていくのか。
- ③伊豆山地区に戻り生活再建を望まれる方々や、1日も早い生活のスタートを目指し、他の地域への生活再建に向けて準備を進めている方々に対して同じような支援を行っていくのか。
- ④復興手法である、小規模住宅地区改良事業以外にいくつかの事業手法の活用により基盤整備を進める考えがあるか。

2. 伊豆山地区におけるバス路線維持について

- ①伊豆山地区を運行するバス事業者より七尾原線及び伊豆山線の路線維持につき単独による維持困難との申し出に市はどのように考えているのか。
- ②路線の維持において考えられる対応策はあるのか。

3. 現在休園中の伊豆山幼稚園の利活用について

- ①令和5年度以降の伊豆山幼稚園の再開見込みについて
- ②休園中の伊豆山幼稚園施設の現状について

質 疑 質 問 事 項

1. 熱海市環境基本計画について
 - (1) 今年度までの第二次計画と今後10年間の第三次計画について。
 - (2) 「ごみ屋敷」を規定した条例制定を。
2. 熱海市児童発達支援センターについて
 - (1) 指定管理者の事業収入について。
 - (2) 利用料金制から利用料金併用制への変更について。
 - (3) 児童発達支援センターを利用している未就学児が、小学校に入学してからの熱海市のサポート体制について。
3. 犯罪被害者等の支援に関する条例制定について
 - (1) 誰もが犯罪被害者となる可能性が高まっています。
被害者支援の条例制定を。
4. 昨年7月3日に発生し甚大な被害をもたらした大規模土石流の復興事業と熱海市の総括について

質 疑 質 問 事 項

1. 網代漁港荷さばき所の活用について

網代漁港荷さばき所の整備の目的、現在の活用実績、今後の可能性についてお答えください。

2. 国民健康保険について

平成30年度以降、国民健康保険は都道府県と市町村が役割を分担し、財政運営主体については都道府県が担うことで持続可能な医療保険制度を構築することとなりました。制度開始から5年経過した現在の静岡県の方角性及び進捗状況や課題についてお答えください。

3. 宿泊税について

宿泊税の導入に関し本格的な議論が始まったと承知しているが、目的、宿泊税の概要及び用途についてお答えください。

4. 火災予防について

商店街等の建物密集地での火災予防及び火災が発生した場合の対策についてお答えください。

質 疑 質 問 事 項

1. 高齢者等地域見守りネットワーク事業、並びに重層的支援体制事業について

- ①高齢者等地域見守りネットワーク事業と、重層的支援体制整備事業について、共通点と違いは何か。
- ②これら2つの事業において地域包括支援センターの果たす役割は何か。
- ③令和3年度に(福)熱海市社会福祉協議会に支払われた重層的支援体制整備事業への移行準備事業業務委託費1,080万円の事業内容は何か。
- ④重層的支援体制整備事業は令和5年度より本格実施を目指すとしている。半年後にはスタートという事になるが、実施に向けて不安、課題はないのか。

2. 静岡県水道事業の広域化について

- ①水道事業の基盤強化とは一体何を言うのか。
- ②仮にこの地域全体を一つのくくりとした場合、相当の無理が生じ、基盤強化につながらないような気もするが、現実的な組み合わせについて、県はどのように考えているのか。
- ③水道事業を広域化する場合、安全で安価な水道水を持続的に提供できる枠組みを作る必要があるが、どのような議論ののちに県のプランは作成されたのか。
- ④県企業局や熱海市の将来的な戦略が変わらないままの広域化の議論は意味がない。県企業局を交えた広域化、将来の経営戦略についてどのような議論が行われているのか。

3. 別府市における「おくやみコーナー」について

- ①当局は「おくやみコーナー」についてどのような感想を持っているか。
- ②熱海市として今後市民の利便性向上のために何にどう取り組んでいくのか。

4. 熱海市伊豆山土石流災害に係る熱海市の見解及び対応について

- ①土石流等の兆候について、今回の再発防止策には具体的に記載されていないように見えるが、再発防止策についてどの点で理解できるのか。

質 疑 質 問 事 項

1. 議案第47号 令和4年度熱海市一般会計補正予算(第5号)

- ①商工業振興費に関して、法人に4万円、個人事業主に2万円支給とした金額の根拠は何か。
- ②地域経済活性化対策経費は移住就業支援のための補正であるが、取組に対して実際に何世帯の申請があるのか。

2. 【一般質問】市内小中学校の修繕計画について

- ①市内各学校からの修繕に関する要望は、年間何件程度あるのか。
- ②小学校、中学校の修繕費の年間予算額はいくらか。

3. 【一般質問】心身に障がいを抱える児童数の実態とその支援について

知的、情緒を含め支援を要する児童は小学校、中学校に何名いるか。また通級指導教室に通う児童数は何名いるか。

4. 【一般質問】救急かけはしへの取組について

- ①熱海市の年間救急出動件数は何件か、直近数年の推移についてお答えください。また緊急出動に対応するために、隊員は何名体制で控えているか。
- ②10月の広報あたまにて「救急かけはし」が紹介されたが、この取り組みはいつから開始したか。また、本市における登録者数は現在何名かお答えください。

5. 【一般質問】「伊豆山土石流災害に係る熱海市の見解及び対応」について

当初9月の市長選前に総括の公表としていたものが、11月の公表になったのはなぜか。また、なぜ公表日を11月16日に設定したのか。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害について

(1) 「熱海市伊豆山土石流災害に係る熱海市の見解及び対応」(以下「熱海市総括」)について

- ①都市計画法に基づく開発行為との関連について
- ②未記載部分があるにもかかわらず当該届出書を受け付けた件について
- ③ロックフィルダムの設置について
- ④森林法の適用について
- ⑤A社の開発行為に対する森林法及び、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の適用について
- ⑥土採取等規制条例に基づく措置命令発出に係る決裁と発出見送りについて
- ⑦市の対応上の問題点について
- ⑧「熱海市総括」の記者会見について

(2) 第2の盛土・太陽光発電施設・④宅地造成の是正措置について

(3) 緊急伐採について

(4) 太陽光発電施設について

2. ワークेशन事業の現状について

(1) 熱海市ワークेशन施設等整備促進事業費補助金交付の実績と、それら事業所が市内で展開している事業内容について、施設の稼働率等含めた説明を求めます。

質 疑 質 問 事 項

1. 議案第49号熱海市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

個人情報保護の市の取扱いについて、市道を挟む隣地（相手方）からの倒木被害等を受けた場合に、市は相手方の個人情報を、当事者側に知らせることは出来ないのか。スムーズに市民が隣地者等とコミュニケーションがとれる対応を取り組むべきではないか。

2. スーパーヨット受け入れ環境整備・計画の熱海市の状況と今後の取組について

県は、熱海港海岸環境整備事業（渚地区）として、第4工区工事を実施・計画をしている。今後、市は、この第4工区をスーパーヨット寄港地とするための計画の内容と、今後の進展及び課題などを説明してください。

3. 子育て応援トータルプランによる伴走型相談支援と0～2歳児への経済的支援への取組について

①市の現在取り組まれている母子保健事業、母子健康包括支援事業において、今後国からの補正予算で熱海市で行われる0～2歳児への経済的支援と伴走型相談支援をどのように取組み、対応していくのか説明してください。

②今回の伴走型相談支援について熱海市の現状の支援事業との課題など伺います。

4. 身元保証人などのいない高齢者の入院・入所について

高齢者の単身世帯は現在、約7,500世帯と多く、また入院時や施設等入所時に身元保証人がいない方が多くいる。高齢者の方々が安心して老後の生活を送るため、身元保証人のいない高齢者について、市の対応を伺います。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害被災者が請求している損害賠償額の現状と、熱海市の財政破綻を回避する政策について問う。
2. 市内の中学校におけるいじめの現状について問う。
3. コロナ禍における生活保護者数の現状と対応について問う。
4. 市内人口65歳以上の高齢化率が48.7%を超えたが、うち学識経験者及び健全高齢者に対する再雇用を進めるべきと考えるが当局の見解について問う。
5. 2030年には644万人の労働者不足が指摘されている。また熱海市の人口減少と高齢化に伴う人材不足の穴埋めに外国人の活用が求められているが、当局の具体的な方針を問う。
6. 咲見町にマックスバリュが出店し連日賑わっているが、この地区は観光客の流入も多いことを含めて、当局は、熱海市の再生に向けた賑わい創造地域としてどのような計画でいるかを質す。
7. これまで、市有地を開放しブルネイ他の外国人観光客誘致を目的にホテル建設を提言してきたが、円安の今こそ、インバウンド消費を視野に入れた外資系ホテル誘致は、若者層の雇用を含めて「熱海国際観光文化都市」の名を高め、熱海市の今後に大きな意味を持つと考えるが当局の考えを質す。
8. 先に、ホストタウン関係業務委託料として予算付けされた、ブルネイダルサラーム国への市議会常任委員会等の視察について具体的な日程その他について当局の見解を質す。
9. 現エストニア共和国国会議員である元大関把瑠都氏から齊藤市長に対して姉妹都市提携案が示されたが、当局の見解を質す。
10. 伊豆山土石流災害における地域崩壊を奇禍として、熱海市再生に不可欠となるのが南熱海地区で唯一取り残されている、陳情済みの用途地域見直しを急ぐべきだが、当局の考えを質す。
11. 市営住宅駐車場の徴収業務の内容と住民からの苦情について問う。
12. 現地消費型ふるさと納税サービスとして自治体ECサイトを構築して返礼品の開発を行なうべきだと思うが当局の見解を求めます。

質 疑 質 問 事 項

1. 伊豆山土石流災害の今後の対応等について
 - (1) 熱海市が公表した熱海市伊豆山土石流災害に係る熱海市の見解及び対応について
 - (2) 災害対策基本法第63条に基づく警戒区域の見直しについて
 - (3) 国が進める砂防堰堤（新砂防ダム）と赤井谷行政代執行の進捗状況を伺う
 - (4) 福岡市玄界島復興事業視察から学ぶ小規模住宅地区改良事業について
2. 新型コロナウイルス感染症ワクチン対策について
3. 市内小中学校のいじめの認知件数とその対策について
4. 市内のバス路線・初島航路の公共交通について
5. 旧梅園荘の今後について
6. 市内の落書き被害の状況について
 - (1) 市内の落書きの被害状況はどうか
 - (2) 活動しているボランティア団体の支援について